

木がすきや木

山にドライブに行くと
桧や杉がいっぱい。マ
イナスイオンを思いっ
きり吸って帰ってきま
す。木の香りっていい
ですね。



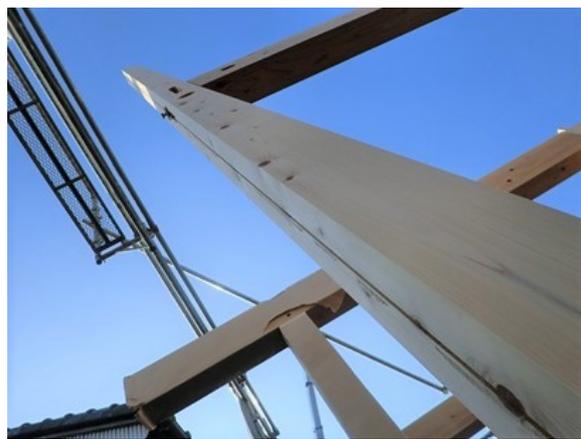
光計画事務所

高橋 光輝 一級建築士



【 木がきく家？ 】

建物の、重要な部分として構造木材が考えられます。特に柱はこだわりたい部分で、構造の中でも建物を支える重要な部材です。高知県産材の中では桧材が最も適した材料と思われます。桧材のヤング係数(木材強度)は一般的にE90で針葉樹の中では大きい方です。同じサイズではヤング係数の大きい方が高強度を保持し、2階建ての柱サイズは120mm角以上をお勧めします。又、梁材は概ね杉材を使用していて杉材のヤング係数は一般的にE70と桧材よりは少し柔らかい材になります。杉の木は桧より生育が早く樹齢に対し大きなサイズが確保でき、大きいサイズを必要とする梁は杉材が適していますが、杉材はヤング係数にはばらつきがあるので注意して使います。



床材に桧を使用すると、桧の持ついい匂いが新鮮で居心地のいい環境をつくれます。なぜ高知県産材にこだわるかと言えば、高温多湿である高知県で育成した地元の木材なので気候風土に適応した木材だからです。高知県では、構造材や造作材の質の高い木材が手に入るのも木を表しにした内装もおすすめします。長い間住まう家には県産材を使い安心して木の香りのする家づくりを考えて見てはいかがでしょうか。

